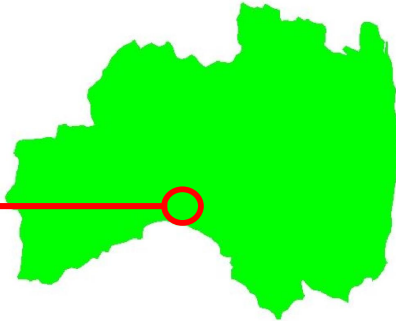


産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(28年度:計画作成主体:西郷村農業再生協議会(福島県))

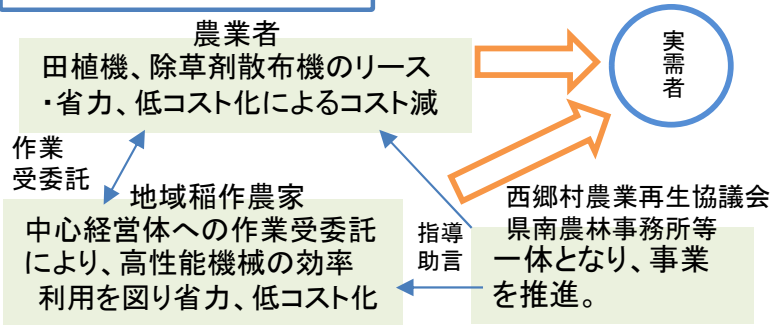
取組の概要

対象品目 : 水稻(産地面積8.3ha(中山間))
 主な取組主体 : 農業者1名
 成果目標 : 米の生産コスト10%以上の削減
 基準(27年度) 148,829円/10a
 目標(30年度) 133,900円/10a
 導入施設等 : 生産支援事業(機械リース)
 (田植機1台、除草剤散布機1台)

福島県
西郷村
南谷地中地区



産地体制



地域における独自の取組

・西郷村とJA夢みなみの共同出資による、認定農業者への支援、土地利用集積、農産物直売所運営等を目的とした村農業公社を平成29年度に設立。
 ・耕畜連携により、村内生産者の保護・育成、循環型農業の推進に取り組んでいる。

ポイント

【産地の課題及び取組方向主な取組】
 非効率な機械利用による作業時間の増加、資材等生産コスト高の状況にあるが、同時施肥、除草剤同時散布及び密苗生産可能な機械の導入により、燃料や資材費の削減及び作業時間の短縮が図られ、また地域水稻農家からの作業受託等による担い手の経営面積の拡大と併せ、生産コスト10%以上の削減を実現していく。

【産地の体質強化に向けた方策】
 省力・低コスト化を図るための機械等のリース導入支援

取組成果

【事業実施による直接効果】
 ・施肥・除草剤散布に係る作業が田植えと同時にされることにより、生産コスト(光熱動力費等)が削減。

【事業実施による間接効果】
 ・地域の中心的経営体である担い手による作業受託に繋がるため、地域における土地利用集積の取組が拡大。

生産コストを
18%削減
(達成率102%)

田植機のペースト肥料同時施肥、除草剤同時散布



目標値
133,900円/10a

148,829円/10a 122,458円/10a

